

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
(1) 妊産婦や乳幼児への食育推進	母子健康手帳副読本等の配付	↔		↔			妊娠期及び就学前の家庭における乳幼児の望ましい生活習慣や食事内容について啓発することを目的として、妊娠届出時に、『母子健康手帳副読本』や『すくすく子育て手帖』『マタニティ食事レッスン』を配付します。	2576部配付	継続して実施	引き続き妊娠届出時に配付
	マタニティスクール	↔		↔			妊娠期及び産後に向けての望ましい家庭での生活習慣や栄養、食生活に関する講座を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・らくらくおしゃべりクッキング : 8回 52人 ・どきどき育児体験クラス : 6回103人 ・ぱばママクラス : 5回457人 ・わくわく出産クラス : 5回 80人 	新しい生活様式をふまえた実施方法や内容の検討を行い実施	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、R2.3月より教室を中止。今年度中に方法を変更して開催予定
	妊産婦・新生児・乳児指導訪問	↔		↔			助産師会と連携し、助産師や保健師が、妊産婦および新生児を対象に家庭訪問を行い、育児や授乳、栄養に関する相談等を実施します。	乳児（未熟児含む）1542件、産婦1527件、妊婦6件	継続して実施	引き続き助産師と連携、新生児訪問を実施
	乳幼児健康相談	↔		↔			身近な会場（保健センター及び生涯学習市民センターなど市内8ヶ所）へ出向き、身体計測や保健相談、栄養相談、歯科相談を実施。	3951人 （うち栄養相談781人）	新しい生活様式をふまえた実施方法や内容の検討を行い実施	新型コロナウイルスの感染拡大防止のためR2.4月より事業を中止していたが、実施方法を変更しR2.7月より再開
	乳幼児健康診査	↔		↔			乳幼児健康診査や健康相談の場で、子どもの生活習慣や食事に関する相談や啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健康診査2,364人 ・1歳6か月児健康診査2,403人（うち栄養相談 181人） ・2歳6か月児歯科健康診査2,356人（うち栄養相談 144人） ・3歳6か月児健康診査2,535人（うち栄養相談 118人） ・健診Aのべ312人（うち栄養相談 62人） 	継続して実施	引き続き、乳幼児健康診査及び健康相談を実施

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
(1) 妊産婦や乳幼児への食育推進	離乳食講習会・幼児食講習会	↔		↔			離乳食や幼児食に関する講座や調理実習を開催し、望ましい生活リズムや食事に関する啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ぴよぴよ離乳食講習会 21回 427人 ・ステップアップ離乳食講習会 11回 228人 ・ぱくぱく幼児食講習会 5回 56人 ・親子で楽しくクッキング 2回 56人 	新しい生活様式をふまえた実施方法や内容の検討を行い実施	新型コロナウイルスの感染拡大防止のためR2.4月より事業を中止していたが、実施方法を変更しR2.8月より再開
	健康教育（母子）	↔		↔			地域で催される子育てサロン等からの依頼により、職員が地域へ出向き、食に関する正しい知識を普及・啓発し、乳幼児の健康の保持増進を図ることを目的として実施。	4回 141人	新しい生活様式をふまえた実施方法や内容の検討を行い実施	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止、または新しい生活様式に合わせ実施
	食生活に関する相談・指導事業	↔		↔			食育便りの発行 食育講演会 栄養相談	毎月食育便りを発行したり、年に一回食育講演会を実施した	食育便りを保育に活用していくことが課題である	新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、食育便りを活用するなどして、可能な取り組みを行う
	育児教室	↔		↔			在宅の親子を対象としたふれあい体験事業や育児教室を通じて、生活リズムや食生活についてのアドバイスをを行います。	在宅の親子を対象として実施。保健センターと連携し、全保育所秋コースの5回コースを開催。参加人数延べ815名の参加。	各施設の地域開放と合わせた形で実施	今後は、各施設が年間で実施している地域開放事業と組み合わせ、在宅の親子を対象に実地していく予定だが、コロナ感染拡大により見合わせ中
	栄養相談	↔		↔			生活習慣病予防のための個別の栄養相談（食生活指導）を実施します。	・88人（母子のみ） （保健センター：53人、北部リーフ：35人）	相談件数が少ない日がある。周知方法等を検討し、利用者の増加を目指す	栄養相談の一部を「離乳食・幼児食講習会」と名称を変更して実施
	ひらかた健康ほっとライン24	←————→					看護師や医師らによるフリーダイヤル健康相談において、授乳や離乳食に関する相談を実施します。	令和元年度電話相談件数 授乳に関する相談：84件 離乳食に関する相談：46件	必要なときに利用されるよう、認知度を高めていくとともに、気軽に利用できる相談窓口と認識される取組みが必要	母子保健に関する講演会、研修会等の機会を通じて、参加者に案内（マグネット等）を配布することにより、周知を行う

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
	ひらかた食育Q&A						食についての基礎的な知識に関する問題集「食育Q&A」を作成・配付し、幅広い世代に啓発を行います。	市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校に配付するとともに、食育カーニバルをはじめとするイベント等の参加者への配付を行った 配付実績 ・幼児用：3,266冊 ・小学生用：4,145冊 ・中高生用：3,711冊 ・大人用：1,119冊 合計：12,241冊 実施施設へのアンケートをふまえて、幼児用の見直しを行った	昨年度は、イベント等あらゆるの機会を活用し、計画している配付数を達成できた。 今後も継続して、配付を行う	引き続き、市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校等で配付する

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
(2) 保育所（園）・幼稚園・認定こども園・学校における食育推進	保育所（園）・幼稚園における食育推進研修会	↔					保育所や幼稚園、学校等の指導者を対象とした食育の実践研修会を開催します。	保育所（園）の職員（調理員・保育士等）を対象とした食育に関する研修会を実施。調理員を対象とした調理実習研修実施	今後も指導者を対象とした食育の研修会や調理実習、試食会等を企画していく	保育所（園）の職員（調理員・保育士等）を対象とした食育に関する研修会を実施。調理員を対象とした調理実習研修実施を予定
	保育所（園）・幼稚園・認定こども園におけるクッキング保育	↔					乳幼児期からの適切な食事のとり方や望ましい食習慣の定着、豊かな人間性の育成等を図るため、菜園活動や調理体験等を実施します。	玉ねぎ・じゃがいも・夏野菜等、季節の野菜を栽培収穫し、クッキングを行った	豊かな人間性の育成を図るため、引き続き菜園活動や調理体験等を実施していく	コロナの感染拡大防止を考えたまま、引き続き実施
	保育所（園）・幼稚園・認定こども園における菜園活動	↔					乳幼児期からの適切な食事のとり方や望ましい食習慣の定着、豊かな人間性の育成等を図るため、菜園活動や調理体験等を実施します。	春期・夏期・秋期・冬期、季節に応じ計画し、栽培収穫を行った	豊かな人間性の育成を図るため、引き続き菜園活動や調理体験等を実施していく	コロナの感染拡大防止を考えたまま、引き続き実施
	栄養教諭・学校栄養職員による食育の推進		↔				「食に関する指導」と「学校給食の管理」を一体的に行い、学校給食を生きた教材として教育実践に活用するなど、栄養教諭・学校栄養職員による食育推進を図ります。	給食体験や行事食等、みんなで同じ食材と出会う機会を捉え、園児がいろいろな食べ物に興味を持ち、食事の大切さに気づくことができるような活動に取り組んだ	小学校での給食体験や、栄養教諭から話を聞く機会を増やすとともに、職員が栄養について専門的に学べるよう研修等を行う	3歳児を含めた3年間の食育の年間指導計画を実態に合わせて改良していく
	食農体験学習支援事業		↔				学校での栽培活動体験や農地を借りての農業体験等を実施します。	親子で夏野菜作りや畑の世話や収穫を楽しんだ	引き続き、親子・異年齢・地域の方と一緒に栽培活動を実施していく	引き続き、親子・異年齢・地域の方と一緒に栽培活動を実施していく
	小中学校における給食試食会			↔			小学6年生を対象に、中学校給食の試食会を実施します。また、保護者等を対象に給食試食会や調理場見学等を実施される場合にも、給食を提供し、規則正しい食習慣や栄養バランス等、食と身体の関係について理解と関心が深まるよう給食を通じて啓発します。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食試食会 全小学校45校6年生の試食会実施 ・小学校給食試食会 PTA及び幼稚園の園児等対象の112回 ・PTA給食試食会に合わせた給食調理場見学の受入れと対応 ・中学校調理場の見学 市PTA給食委員の給食試食・調理場見学の対応 ※小学校給食試食会および保護者の小中学校給食試食会の実施主体は、PTA、小中学校、幼稚園	給食試食会が実施される場合は、学校給食についての資料提供など引き続き支援を行っていく	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年度1学期の給食試食会実施は0件。給食試食会の実施があった場合には、令和元年度と同様の取組を実施する

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
(2) 保育所（園）・幼稚園・認定こども園・学校における食育推進	小中学校における給食参観		←→				給食参観が実施される場合には、規則正しい食習慣や栄養バランス等、食と身体の関係について理解と関心が深まるよう給食を通じて啓発します。	各小・中学校において、保護者を対象に行われた給食試食会にあわせて、学校の実情に応じて給食参観が行われました ※給食時間等の参観については、実施主体がPTA、小中学校であり、給食課、学校給食会としては取り組んでいない	給食参観が実施される場合は、学校給食についての資料提供など引き続き支援を行っていく	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年度1学期の給食試食会実施は0件 給食参観の実施があった場合には、令和元年度と同様の取組を実施する
	生活習慣病予防対策事業		←→				生活習慣病予防を目的に、規則正しい食習慣や栄養バランスのとれた食生活が実践できるよう、普及・啓発を行います。	○PTA給食委員会（小学校） ・講演「朝食の大切さを知ろう！」 50人 ○健康フェア（大学）における朝食摂取の啓発 ・市内3大学 計202名	依頼に基づき実施	○PTA給食委員会 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、資料配付による研修実施 テーマ【感染症予防（栄養についてを含む）】
	ひらかた食育Q&A（再掲）		←→				食についての基礎的な知識に関する問題集「食育Q&A」を作成・配付し、幅広い世代に啓発を行います。	市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校に配付するとともに、食育カーニバルをはじめとするイベント等の参加者への配付を行った 配付実績 ・幼児用：3,266冊 ・小学生用：4,145冊 ・中高生用：3,711冊 ・大人用：1,119冊 合計：12,241冊 実施施設へのアンケートをふまえて、幼児用の見直しを行った	昨年度は、イベント等あらゆる機会を活用し、計画している配付数を達成できた 今後も継続して、配付を行う	引き続き、市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校等で配付する

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
(1) 生活習慣病予防のための食育推進	生活習慣病予防対策事業（再掲）		←→				生活習慣病予防を目的に、規則正しい食習慣や栄養バランスのとれた食生活が実践できるよう、普及・啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> OPTA給食委員会（小学校） <ul style="list-style-type: none"> ・講演「朝食の大切さを知ろう！」 50人 ○健康フェア（大学）における朝食摂取の啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・市内3大学 計202名 	依頼に基づき実施	OPTA給食委員会 10月感染症予防（栄養についてを含む）の資料配付による研修実施
	生活習慣病予防のための教室			←→			バランスの良い食事や減塩についての講義、野菜のクッキングなど、生活習慣病予防のための教室を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病とからだのミカタ教室 6回66人 ・チャレンジ！野菜をたべよう～野菜お手軽クッキング～6回123人 	継続して実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、チャレンジ！野菜をたべようは中止
	血糖コントロールセミナー			←→			血糖値の高い人を対象とした連続講座を開催し、生活習慣や食生活改善の講義、個別相談を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・5クール（1クール3回コース）のべ284人 	継続して実施	継続して実施
	栄養相談・健康相談			←→			生活習慣病予防のための個別の栄養相談（食生活指導）や、家庭訪問による健康づくりや生活習慣病予防のための相談・指導を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・成人、高齢者への健康相談 2523人 ・成人、高齢者への栄養相談 107人 	継続して実施	継続して実施
	特定保健指導				←→		メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための保健指導を実施します。また、ハイリスク者を対象とした生活習慣や食生活改善の個別指導を実施します。	特定健康診査の結果、特定保健指導の対象となった人に特定保健指導を実施 令和元年度（令和2年7月末現在）154人（初回面接実施率7.2%）に実施 ※実績確定は10月末予定	特定保健指導の利用率が低いのが課題 積極的支援について最終評価時期を見直し指導期間を短縮し、動機付け支援について利便性を図ることで、利用率の向上を目指す	積極的支援について、最終評価時期を6か月後から3か月後に変更 動機付け支援について、初回面接時に遠隔面接を導入

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定	
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期					
	後期高齢者歯科健康診査					↔	満75歳以上の生活保護受給者、中国残留邦人等の方に、誤嚥性肺炎や口腔機能の低下を予防するために歯科健康診査を実施します	受診者 1人	継続して実施	継続して実施	
	8020達成者表彰					↔	枚方市歯科医師会と連携し、20歯以上の健全な歯を持つ80歳以上の方を表彰することで、市民に対する歯育推進の啓発を行います。	枚方市歯科医師会と連名で、達成者129名に表彰状を授与した 例年「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」において、表彰式を実施しており、当日は53名が出席した	今後も「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」において、継続して表彰を実施していく	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、表彰式は実施せず、郵送にて達成者に表彰状を送付する	
	ひらかた食育Q&A（再掲）	←————→						食についての基礎的な知識に関する問題集「食育Q&A」を作成・配付し、幅広い世代に啓発を行います。	市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校に配付するとともに、食育カーニバルをはじめとするイベント等の参加者への配付を行った 配付実績 ・幼児用：3,266冊 ・小学生用：4,145冊 ・中高生用：3,711冊 ・大人用：1,119冊 合計：12,241冊 実施施設へのアンケートをふまえて、幼児用の見直しを行った	昨年度は、イベント等あらゆるの機会を活用し、計画している配付数を達成できた 今後も継続して、配付を行う	引き続き、市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校等で配付する
(3) 歯と口腔の健康づくりの推進	乳幼児健康診査（再掲）	↔		↔			乳幼児健康診査や健康相談の場で、子どもの生活習慣や食事に関する相談や啓発を行います。	4か月児健康診査2,364人・1歳6か月児健康診査2,403人（うち栄養相談 181人）・2歳6か月児歯科健康診査2,356人（うち栄養相談 144人）・3歳6か月児健康診査2,535人（うち栄養相談 118人）・健診Aのべ312人（うち栄養相談 62人）	継続して実施	引き続き、乳幼児健康診査及び健康相談を実施	

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
	保育所（園）による歯科健康診断	↔					各公立保育所において、歯科検診を実施します。	公立保育所（11園）において、6月に歯科検診を実施	引き続き実施	コロナ感染拡大に伴い延期となっているが、今年度中に各施設実施していく予定
	離乳食講習会・幼児食講習会（再掲）	↔		↔			離乳食や幼児食に関する講座や調理実習を開催し、望ましい生活リズムや食事に関する啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ぴよぴよ離乳食講習会 21回 427人 ・ステップアップ離乳食講習会 11回 228人 ・ぱくぱく幼児食講習会 5回 56人 ・親子で楽しくクッキング 2回 56人 	新しい生活様式をふまえた実施方法や内容の検討を行い実施。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のためR2.4月より事業を中止していたが、実施方法を変更しR2.8月より再開。
	ブラッシング指導	←————→					歯と口の健康づくりのため、歯科衛生士がブラッシング指導を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラッシング指導（歯科衛生士）春と秋に、枚方市立全幼稚園、小学校で、各年齢に応じた歯科衛生士によるブラッシング指導を行いました。 <small>実施学年は学校で決めてい</small>	継続して実施	新型コロナウイルス感染拡大の影響により8月以降に実施
	学校園歯科健康診断	↔					学校保健安全法第13条第1項に基づき実施している定期健康診断です。	枚方市立全幼稚園、小中学校で4月～6月にかけて歯科検診を行いました。（31,726人）	継続して実施	新型コロナウイルス感染拡大の影響により8月以降に実施
	よい歯のコンクール	↔		↔			3歳6か月健康診査を受診した幼児と保護者に対し、そろってよい歯を保っている方を表彰します。	地区審査対象者数 14人	継続して実施	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
	妊産婦歯科健康診査			↔			妊産婦のう蝕、歯周疾患を早期発見・早期予防し、妊婦および胎児の健全な発育に資することを目的に妊産婦歯科健康診査を実施します。	受診者 777人	継続して実施	継続して実施
	成人歯科健康診査			←————→			1歳6か月児健康診査、2歳6か月児歯科健康診査に来所した保護者を対象に歯科健診を実施し、歯育を推進します。	受診者 2,147人	継続して実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、2歳6か月健康診査中止

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
(3) 歯と口腔の健康づくりの推進	歯周病検診（再掲）			←→			35歳から70歳までの5歳ごとの節目で、歯周病検診を実施します。	受診者 1,725人	継続して実施	継続して実施
	在宅訪問歯科事業			←→			在宅寝たきり老人等の口腔内のう蝕、歯周疾患、義歯の不適合、口腔清掃状態等の状況を改善し、口腔機能の回復を図ることを目的とし、訪問による歯科検診を実施します。	実施件数 3件	継続して実施	継続して実施
	障害者（児）施設歯科健康診査			←→			障害者（児）施設等に入所、通所され、歯科保健医療サービスを受ける事が困難な方に対し、施設において歯科健康診査を実施します。	22施設実施	継続して実施	継続して実施
	後期高齢者歯科健康診査（再掲）					↔	満75歳以上の生活保護受給者、中国残留邦人等の方に、誤嚥性肺炎や口腔機能の低下を予防するために歯科健康診査を実施します	受診者 1人	継続して実施	継続して実施
	8020達成者表彰（再掲）					↔	枚方市歯科医師会と連携し、20歯以上の健全な歯を持つ80歳以上の方を表彰することで、市民に対する歯育推進の啓発を行います。	枚方市歯科医師会と連名で、達成者129名に表彰状を授与した。 例年「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」において、表彰式を実施。当日は53名が出席。	今後も「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」において、継続して表彰を実施していく。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、表彰式は実施せず、郵送にて達成者に表彰状を送付する。
	まんてん教室（再掲）					↔	高齢者の低栄養の改善および口腔機能の向上を目的に、栄養バランスを考えた簡単な献立の立て方等の講義・実技（1回目）と、個人に合った方法で食生活を良くしていくためのアドバイスを行うための個別相談（2回目）を行います。	5クール（1クール2回コース）のべ50人	継続して実施	オーラルフレイルについて客観的な評価を実施するため、令和2年度より舌圧測定を実施

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
	ひらかたカラダづくり トライアル（バーチャル版）						バランスライとして、50回以上主食・主菜・副菜をそろえた食事を食べた記録用紙を提出された方に達成証を進呈	達成者数 のべ324人	年間を通して健康づくりに取り組めるよう、120日チャレンジとしてリニューアルし、実施。	継続して実施。
	ひらかた食育Q&A（再掲）						食についての基礎的な知識に関する問題集「食育Q&A」を作成・配付し、幅広い世代に啓発を行います。	市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校に配付するとともに、食育カーニバルをはじめとするイベント等の参加者への配付を行った。 配付実績 ・幼児用：3,266冊 ・小学生用：4,145冊 ・中高生用：3,711冊 ・大人用：1,119冊 合計：12,241冊 実施施設へのアンケートをふまえて、幼児用の見直しを行った。	昨年度は、イベント等あらゆるの機会を活用し、計画している配付数を達成できた。今後も継続して、配付を行う。	引き続き、市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校等で配付する。
（4）食の自立支援と食生活改善の促進【高齢者・障害者】	身体障害者配食サービス						65歳未満の重度の身体障害者で一人暮らしの方、またはこれに準ずると認められる場合で、身体の障害等により買物及び調理が出来ないため食事の確保が困難な方に一日2食を限度として、食事を配達し、安否確認を行います。	・対象者数 2人 ・配食数 のべ 306食 ・助成金額 61816円	利用者数は前年度より1名減少した。今後も配食事業者と連携し、継続して実施していく。	令和2年度（2020年度）の予定 ・対象者数 2人 ・配食数 のべ 300食 ・助成金額 61200円
	在宅訪問歯科事業（再掲）						在宅寝たきり老人等の口腔内のう蝕、歯周疾患、義歯の不適合、口腔清掃状態等の状況を改善し、口腔機能の回復を図ることを目的とし、訪問による歯科検診を実施します。	実施件数 3件	継続して実施	継続して実施
	栄養士派遣指導事業						栄養士が自宅を訪問し、規則正しくバランスの良い食事の摂取等、食に関する助言や指導を行います。	利用実人数 21人 訪問回数 68回	引き続き事業を継続し、利用者拡大に努める	事業継続

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
	食中毒予防三原則の周知						<p>食中毒予防の三原則を理解するなど、食の安全性に関する正しい知識をもち実践します。料理教室や講習会開催時に、食中毒予防の呼びかけをするなど食中毒予防対策の普及・啓発を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所・福祉施設等の給食調理担当者、市民団体及び食品営業者団体等に対して、食中毒予防について講習 ・ 食中毒予防街頭キャンペーン(夏期・冬期)の実施、市主催イベントでの啓発物品配布 ・ 小・中学校・市施設での食中毒予防啓発ポスター掲示 ・ 広報ひらかた・FMひらかた・ホームページでの食中毒予防情報の発信 ・ PTA等が地域行事の模擬店で食品を提供する際に「臨時出店届」を受付し、適切な衛生管理・食中毒予防を啓発 	<p>今後も講習会・街頭キャンペーン・広報・窓口等あらゆる機会をとらえて、食品等事業者及び市民に対して食の安全性に関する正しい知識の啓発を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 摂南大学薬学部学生に対して動画により食中毒予防などについて講習 ・ 食中毒予防街頭キャンペーン(冬期)の実施、保健所内及び市庁舎への横断幕等の掲示 ・ 小・中学校・市施設での食中毒予防啓発ポスター掲示 ・ 広報ひらかた・FMひらかた・ホームページでの食中毒予防情報の発信 ・ 「臨時出店届」を受付時に適切な衛生管理・食中毒予防を啓発
	ひらかた食育Q&A（再掲）						<p>食についての基礎的な知識に関する問題集「食育Q&A」を作成・配布し、幅広い世代に啓発を行います。</p>	<p>市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校に配付するとともに、食育カーニバルをはじめとするイベント等の参加者への配付を行った</p> <p>配付実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児用：3,266冊 ・ 小学生用：4,145冊 ・ 中高生用：3,711冊 ・ 大人用：1,119冊 合計：12,241冊 <p>実施施設へのアンケートをふまえて、幼児用の見直しを行った</p>	<p>昨年度は、イベント等あらゆる機会を活用し、計画している配付数を達成できた</p> <p>今後も継続して、配付を行う</p>	<p>引き続き、市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校等で配付する</p>
(6) 衛生管理・生産者への研修会の開催等の推進	衛生指導						<p>給食や保健体育を通じ、衛生指導を実施するほか、養護教諭を中心とした指導と啓発を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生指導の実施 学校給食調理場を立入検査し、栄養担当教諭等に対して食中毒予防のための衛生指導及び啓発を行い、改善結果報告を受理 	<p>今後も教育委員会と連携し、学校給食への衛生指導を継続して実施する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生指導の実施 学校給食調理場を立入検査し、栄養担当教諭等に対して食中毒予防のための衛生指導及び啓発を実施

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
	衛生管理研修		↔				学校給食の食中毒予防対策として、関係者に「学校給食衛生管理の基準」を基に衛生研修を行い、学校給食の衛生管理の徹底を行います。	・衛生管理研修の実施 学校給食調理場の立入検査結果を踏まえ、調理担当者等に対して研修を実施	今後も立入検査結果等を踏まえ、学校給食関係者への衛生研修を継続して実施する	・衛生管理研修の実施 学校給食調理場の立入検査結果を踏まえ、調理担当者等に対して動画で研修を実施
	特定給食施設等を通じた食育の推進	←				→	特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設に対して、施設管理者及び給食関係者等に栄養改善の見地から必要な指導を行い、給食内容の向上を図るとともに、喫食者に対しても給食を通じた健康づくりを推進します。	○巡回指導 病院：25施設 老人福祉施設11施設 ○特定給食施設等対象研修会「特定給食施設等における食品衛生管理について～食中毒予防のポイントとHACCP～」74施設89人 ○特定給食講演会（大阪府全域連携事業）枚方市保健所管内 69施設75人	継続	新型コロナウイルス感染拡大の影響により休止（R2.9現在）
	農薬安全使用講習会			←		→	農産物への農薬等の使用について、生産者へ法令の遵守等を目的とした研修会を開催します。	令和2年1月27日 午前10時 北河内農協（本店大ホール） 「水稻栽培講習会」 参加人数：131名	今後も、引き続き、農産物への農薬等の使用について、生産者へ法令の遵守等を目的とした研修会を開催します	引き続き、農産物への農薬等の使用について、生産者へ法令の遵守等を目的とした研修会を開催します

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
（1）ネットワークを生かした食育推進	食農体験学習支援事業（再掲）		↔				学校での栽培活動体験や農地を活用しての農業体験等を実施します。	小学生による農作業や試食等の体験	農家の高齢化により実施の取りやめや、学校によっては近くに協力農家や実施できる農地がないなど課題はあるが、引き続き、実施	新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、小学生による農作業や試食等の体験を可能な範囲で実施
	PTAにおける給食試食会・食育講座		↔				PTAや学校、市が連携し、給食試食会や料理教室、学習会等を開催するなど、食育推進の啓発に取り組みます。	11月に管理栄養士による講演会を実施。2月に小学校45校の給食委員を対象に、中学校給食試食会を実施（希望者のみ）	給食委員会の活動方針でもある「安全でより良い学校給食が継続されることを目的として、学校給食会と各単位PTAにおける役割について理解を深める」ため活動する	未定
	農業振興補助事業			↔			安全で新鮮な地元産の野菜を消費者に提供するため、農業者への指導や情報提供を実施します。	農産物直販事業（市内各所で、農業者団体が対面販売で行う直販） ・団体数 9団体 ・開催場所 9ヶ所 ・開催回数 722回	農業者の高齢化により、直販の実施回数が減少しているなど課題はあるが、引き続き支援	新規就農者の確保等の農業者への支援を継続するとともに、引き続き、農産物直販事業（市内各所で、農業者団体が対面販売で行う直販）を支援
	農業ふれあいツアー			↔			市内農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫する等の体験事業を実施します。	・農業ふれあいツアー 開催回数 18回 参加人数 2,655人	農業者の高齢化等により、収穫物の種類や実施回数が減少など課題はあるが、引き続き実施	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、中止
	農業まつり			↔			農業まつりを開催し、農業者と都市住民の交流を図ります。	・農業まつりの開催 11月17日（土）	引き続き実施	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、規模縮小又は中止
	ひらかた食育カーニバル			↔			市民の食育への関心を高めることを目的に、関係機関・団体と連携し、「ひらかた食育カーニバル」を開催することで、食育推進の啓発に取り組みます。	日時：令和2年2月11日（祝） 会場：ラポールひらかた 主催：枚方市食育推進ネットワーク会議、枚方市教育委員会、枚方市 来場者数：のべ7,287人	令和2年度は食育カーニバルとしての開催はしないが、関係機関と連携し、食育の啓発について検討する	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
	ひらかた食育Q&A (再掲)						食についての基礎的な知識に関する問題集「食育Q&A」を作成・配付し、幅広い世代に啓発を行います。	市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校に配付するとともに、食育カーニバルをはじめとするイベント等の参加者への配付を行った 配付実績 ・幼児用：3,266冊 ・小学生用：4,145冊 ・中高生用：3,711冊 ・大人用：1,119冊 合計：12,241冊 実施施設へのアンケートをふまえて、幼児用の見直しを行った	昨年度は、イベント等あらゆるの機会を活用し、計画している配付数を達成できた 今後も継続して、配付を行う	引き続き、市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校等で配付する

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
(2) 多様な暮らしに対応した豊かな食体験につながる食育推進	子どもの居場所づくり推進事業	←→					子どもたちに食事や学習支援や団らんの場の提供を行い、子どもたちを見守る活動に取り組む団体を支援します。	令和元年度は、更新団体18団体に加え、新たに申請があった2団体に補助金交付を行い、20団体22箇所での実施となった。さらに、各実施団体による取組みが効果的になされるよう、地域や小学校等との関係づくりを支援するとともに、食材の寄付やボランティアの募集、取次ぎを行うなど、団体の安定的な運営のため多方面からの支援を行った。 開催回数：413回（1回の開催当たりの子どもの平均参加人数29人）	現在設置されていない小学校区などの地域を中心とした子ども食堂の新たな開設。また、現在、実施されている団体が効果的、安定的に事業を実施できるよう、人材や食材の確保、地域や学校との連携などについて、様々な支援が求められている。	子ども食堂が新たに開設されるよう、制度の周知など働きかけを行っていく。また、各実施団体と地域や小学校等の関係機関などとの連携のほか、食材の寄付やボランティアなどの支援について、引き続き、コーディネート支援に取り組む。
	身体障害者配食サービス（再掲）	←→					65歳未満の重度の身体障害者で一人暮らしの方、またはこれに準ずると認められる場合で、身体の障害等により買物及び調理が出来ないため食事の確保が困難な方に一日2食を限度として、食事を配達し、安否確認を行います。	・対象者数 2人 ・配食数 のべ 306食 ・助成金額 61,816円	利用者数は前年度より1名減少した 今後も配食事業者と連携し、継続して実施していく	令和2年度（2020年度）の予定 ・対象者数 2人 ・配食数 のべ 300食 ・助成金額 61,200円
	共食啓発事業	←→					各種のイベントや、市の行う情報発信を通じて、共食の大切さや効果について広く啓発します。	市内大学にて実施する「健康フェア」で啓発を行った。小学校における給食試食会での保護者向け説明の中で啓発を行った	引き続き各種イベント等の機会を活用し、啓発を行う	継続して実施
(3) 地域における食育の環境づくり	子ども料理教室	↔					生涯学習市民センターにおいて市民と連携して、子ども料理教室や親子料理教室などを実施します。	開催回数：3回	継続して実施	継続して実施
	親子料理教室	←→					生涯学習市民センターにおいて市民と連携して、子ども料理教室や親子料理教室などを実施します。	開催回数：1回	継続して実施	継続して実施
	健康づくりボランティア講座	←→					地区組織活動を実践する人材の育成として、健康づくり食生活改善推進員（ヘルスマイト）や健康リーダーなどの健康づくりボランティアを養成します。	・開催回数 9回のべ151人（うち講座修了者数17人）	継続して実施	継続して実施
	いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座	←→					地域で介護予防活動の拡大に取り組むボランティアを養成します。	・開催回数 2回のべ136人（講座修了者数63人）	継続して実施	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
(4) 地域における食育の環境づくり	健康料理教室			←	→		健康づくりボランティアを中心に、生涯学習市民センターなどを活動場所とし、健康料理教室、健康講座等を実施します。	・枚方市健康づくり食生活改善協議会による教室 ふれあいクッキング 15回のべ375人 ・枚方市健康リーダーによる教室 健康料理教室 12回のべ305人 合計 27回 680人	継続して実施	継続して実施
	健康づくりボランティアを対象としたフォローアップ研修			←	→		健康づくりボランティアのスキルアップを目的に、健康づくりに関する知識や企画調整のための講義、調理講習会を実施します。	開催回数 3回 97人	継続して実施	継続して実施
	男の料理教室				←	→	生涯学習市民センターにおいて市民と連携して、男性の自立と健全な食生活の推進を目的に、料理経験のない男性を対象とした料理教室を実施します。	開催回数 3回	継続して実施	継続して実施
	食環境づくり推進事業	←	→				食を取り巻く環境づくりを整備するため、外食産業や職域、スーパーマーケットやコンビニエンスストア等を介し、たばこ対策等も含めた多様な健康づくりの推進を図ります。	○大阪ヘルシー外食推進協議会事業 ・「うちのお店も健康づくり応援団」（加入店舗数263店、新規加入店舗数：5店） ・「おすすめ！わが店のヘルシーメニュー2019人気コンテスト」 ○飲食店を通じた健康づくり推進事業 ・「ひらかた健康3ツ星レストラン2019」 ヘルシーメニュー提供協力店舗数 19店舗 提供期間：9月～12月20日 スタンプラリー実施 ヘルシーメニュー利用食数 1,911食 ○各種イベントにおける食環境改善の啓発 「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」や「ひらかた食育カーニバル」、食育月間、地域・職域における健康診断を通じた啓発	○ひらかた健康3ツ星メニューとしてお弁当店等中食への展開、実施方法を検討	○新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業を縮小して実施予定 ○例年通り提供店の募集は実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により飲食店等への積極的な働きかけが困難 ○新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種イベント中止

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
	料理教室（一般向け）						生涯学習市民センターにおいて市民と連携して、料理教室を開催します。	開催回数：5回	継続して実施	継続して実施
（4）食文化に関する啓発や情報発信の強化	学校給食における行事食・郷土料理の提供		↔				子どもたちに地域の味や食材に慣れ親しむことができる機会をつくるため、学校給食に郷土料理や行事食をより一層取り入れるよう、学校給食会へはたらきかけます。	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食の提供 雑煮、田作り、黒豆（正月） いわし料理、炒り大豆（節分） ※3月は新型コロナウイルス感染症による学校臨時休業により、予定していた「ひなまつり」「卒業祝い」の給食を提供できなかった。 ・郷土料理の提供 ごんぼ汁、じゃこまめ、くるみもち（枚方） 芋煮（山形）、ゴーヤチャンプル（沖縄）、こしね汁（群馬）、おおひら（山口県）等 ・ラグビーワールドカップにちなみ、日本の対戦国の料理を給食で提供 	全国各地の郷土料理を提供するよう計画し、献立作成を行っていく	令和元年度と同様の取組みを実施中
	イベント等における地元食材を使ったレシピの配布						イベントや調理実習において地元食材を使ったレシピを配布し市民への啓発を行います。	配付数：約300部	継続して実施	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベントや調理実習が中止となったため配付なし
	給食だより・ホームページ等による行事食等の情報発信						保護者が子どもと行事食や郷土料理、地産地消（地元産食材の使用）について理解や関心を共有できるよう、給食だよりやホームページなどを通じて、情報を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> ・給食だよりや献立表、枚方キッチン（広報ひらかた）、ホームページ、クックパッド等による情報発信を行った。（クックパッドに17レシピを掲載） ・小・中学校の給食献立表をスーパーマーケットに掲示してもらい、おいしい給食の情報発信を行った。 	今後も継続して情報発信を行っていく	令和元年度と同様の取組みを実施中
	友好・交流都市物産展						国内友好都市や市民交流都市等の野菜や海産物、乳製品等その都市の特産物を販売します。	日時：令和元年11月15日（金）・16日（土） 会場：市民会館大ホール前 来場者数：約6,200人	国内友好都市等についての市民への周知と、本市を含む各市の魅力発信のため継続して実施していく	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
(1) 地産地消の促進	小学校給食における地元農産物の使用		↔				学校給食で地元の農産物が取り入れられるよう、地元農産物の生産や調整を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・地元生産者と年間の使用品目、量を調整するとともに、使用品目数の増加を図り、昨年から1品目増加した ・小学校給食で使用する野菜類については、市内生産者の協力を得て、枚方産を20品目25.9t（野菜類全体購入量に対する枚方産の野菜購入量の割合：8.2%）を使用した ・学校給食で使用する米・野菜類全体購入量に対する、枚方産及び府内産購入量の割合は、28.2%であった（気象状況の影響により、大阪府産米の使用量が減少） 	気象状況の影響や、生産者の高齢化等による生産規模の縮小から、学校給食での使用量も減少しつつある点が課題である 今後も、使用量および使用品目が増加するよう生産者、JA北河内及び農業振興課等と調整を行っていく	新型コロナウイルス感染症による学校臨時休業のため、4月～6月14日まで給食の提供がなかった 今後については、年間使用予定を元に取組を進める
	農業振興補助事業（再掲）			↔			安全で新鮮な地元産の野菜を消費者に提供するため、農業者への指導や情報提供を実施します。	農産物直販事業（市内各所で、農業者団体が対面販売で行う直販） <ul style="list-style-type: none"> ・団体数 9団体 ・開催場所 9ヶ所 ・開催回数 722回 	農業者の高齢化により、直販の実施回数が減少しているなど課題はあるが、引き続き支援	新規就農者の確保等の農業者への支援を継続するとともに、引き続き、農産物直販事業（市内各所で、農業者団体が対面販売で行う直販）を支援
	イベント等における地元食材を使ったレシピの配布（再掲）			↔			イベントや料理教室において地元食材を使ったレシピを配布し市民への啓発を行います。	配付数：約300部	継続して実施	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベントや調理実習が中止となったため配付なし
	農業ふれあいツアー（再掲）			↔			市内農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫する等の体験事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業ふれあいツアー 開催回数 18回 参加人数 2,655人 	農業者の高齢化等により、収穫物の種類や実施回数が減少など課題はあるが、引き続き実施	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、中止
	農業まつり（再掲）			↔			農業まつりを開催し、農業者と都市住民の交流を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業まつりの開催 11月17日（土） 	引き続き実施	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、規模縮小又は中止

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
	ひらかた食育Q&A（再掲）						食についての基礎的な知識に関する問題集「食育Q&A」を作成・配付し、幅広い世代に啓発を行います。	市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校に配付するとともに、食育カーニバルをはじめとするイベント等の参加者への配付を行った 配付実績 ・幼児用：3,266冊 ・小学生用：4,145冊 ・中高生用：3,711冊 ・大人用：1,119冊 合計：12,241冊 実施施設へのアンケートをふまえて、幼児用の見直しを行った	昨年度は、イベント等あらゆるの機会を活用し、計画している配付数を達成できた 今後も継続して、配付を行う	引き続き、市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校等で配付する
（2）農を身近に感じる食育推進	食農体験学習支援事業（再掲）		↔				学校での栽培活動体験や農地を活用しての農業体験等を実施します。	小学生による農作業や試食等の体験 14小学校	農家の高齢化により実施の取りやめや、学校によっては近くに協力農家や実施できる農地がないなど課題はあるが、引き続き、実施	引き続き、小学生による農作業や試食等の体験を実施
	農業ふれあいツアー						市内農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫する等の体験事業を実施します。	・農業ふれあいツアー 開催回数 18回 参加人数 2,655人	農業者の高齢化等により、収穫物の種類や実施回数が減少など課題はあるが、引き続き実施	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、中止
	農業まつり						農業まつりを開催し、農業者と都市住民の交流を図ります。	・農業まつりの開催 11月17日（土）	引き続き実施。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、規模縮小又は中止

方向性	取組名	対象となるライフステージ					事業概要	令和元年度（2019年度）の取組実績	課題・今後の方向性	令和2年度（2020年度）の取組実績及び予定
		乳幼児期	児童生徒期	青年期	壮年期	高齢期				
（3）環境に配慮した食育推進	学校給食ごみの分別化		↔ ↔				給食の残菜の減量、給食ゴミの分別を推進します。	・H28年から稼動した第一学校給食共同調理場では、生物流動床処理方式にて生ごみや残菜を処理 ・学校給食ででた空きびんやダンボール、廃プラスチックは、分別・リサイクルを実施 ・献立作成時には、味付けや分量について検討し、残菜が少なくなるよう工夫した	各種ごみの分別は、引き続き実施。 揚げ油の廃油は、これまでの石けんへの再生に加え、バイオディーゼル燃料へのリサイクルにも取り組む 牛乳ストローなどのプラスチック製品の使用については、業界動向を注視しながら検討していく	令和元年度の取組に加え、廃油のバイオディーゼル燃料へのリサイクルの取組を実施中
	4R啓発事業			↔			市民・事業者・行政との連携により、4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）を普及・啓発し、焼却ごみ削減の取り組みを進めます。	「手付かず食品」キャンペーンの開催 （目的）賞味期限切れなどの理由でゴミとして排出される。また、作り過ぎや食べ残しをしない等。 年間38回・約9,665人に啓発	3密に考慮しながら、「手付かず食品」キャンペーン、食べのこサンデー等の啓発事業に引き続き取り組んでいく	コロナ禍により、公共施設等へのポスター掲示や、中身入りスプレー缶等の出張回収時に啓発グッズを提供。今後は、状況を見ながら可能な範囲で普及・啓発を行う予定
	生ごみたい肥化事業			↔			NPOと協働し、段ボール箱やコンポスト容器、EM（有用微生物群）を使用した堆肥化事業や市民への講習会を開催し、生ごみの資源化に取り組めます。	コンポスト・EM容器を使った堆肥化モニター参加世帯数合計35世帯 生ごみ堆肥化講習会の開催9回 受講者数32人 ※2月以降コロナ禍の影響により、推進できず	講習会の受講者増加へ向け、開催方法などを検討して継続	今年度は未開催。今後の開催についても未定（コロナ禍の収束後に講習会を開催できると判断できれば、月1回の開催にむけた取り組みを進める）
	エコレンゲ米生産支援事業			↔			環境に優しい水稲種子の温湯消毒やレンゲ栽培米の普及促進に取り組めます。	レンゲ種子購入補助 1,838kg	引き続き実施	引き続き、エコレンゲ米生産支援事業を実施
	ひらかた食育Q&A（再掲）			↔			食についての基礎的な知識に関する問題集「食育Q&A」を作成・配付し、幅広い世代に啓発を行います。	市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校に配付するとともに、食育カーニバルをはじめとするイベント等の参加者への配付を行った 配付実績 ・幼児用：3,266冊 ・小学生用：4,145冊 ・中高生用：3,711冊 ・大人用：1,119冊 合計：12,241冊 実施施設へのアンケートをふまえて、幼児用の見直しを行った	昨年度は、イベント等あらゆる機会を活用し、計画している配付数を達成できた 今後も継続して、配付を行う	引き続き、市内の保育所（園）、幼稚園、認定こども園、小中学校等で配付する